

IV 切絵図と地誌で見る浅草寺



広重「東都名所 浅草金龍山年ノ市」 国立国会図書館

このコーナーでは、幕末に多数出版された近吾堂板、尾張屋板の切絵図と、それらより1世紀早く、宝暦5年（1755）から刊行を開始し、未完に終わった吉文字屋板の切絵図を比較します。それぞれのテイストの違いを感じる取ることができるでしょう。

あわせて、江戸名所案内の決定版、『江戸名所図会』に描かれたパノラマ図により、その実態像を鳥瞰してみましよう。

切絵図や地誌の挿絵を手に、江戸のむかしと東京のいまをたどる楽しさを感じていただければ幸いです。